まちづくり人財塾　第４回講座　開催のご報告

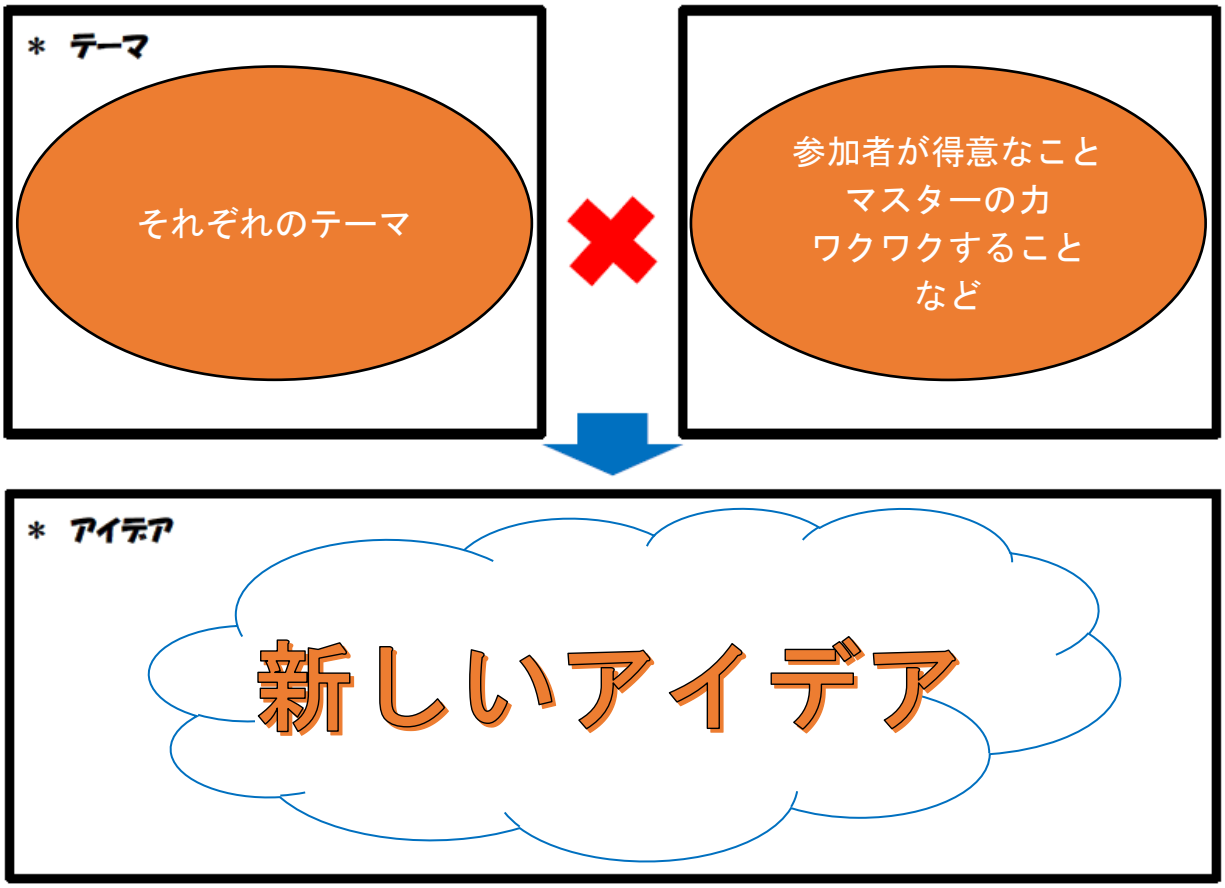
今回も、引き続き、講師に青森中央学院大学経営法学部佐藤淳准教授をお招きし、実際に行動するためには何が必要なのか、皆さんで考えてみました。

平成 29 年度から「まちづくり人財塾」の講師を務めていただいております、青森中央学院大学の佐藤先生です。

毎回、他自治体の事例など、具体的なお話をご紹介いただき、参加者の皆さんが自然と対話出来るように講座を進めていただいています。

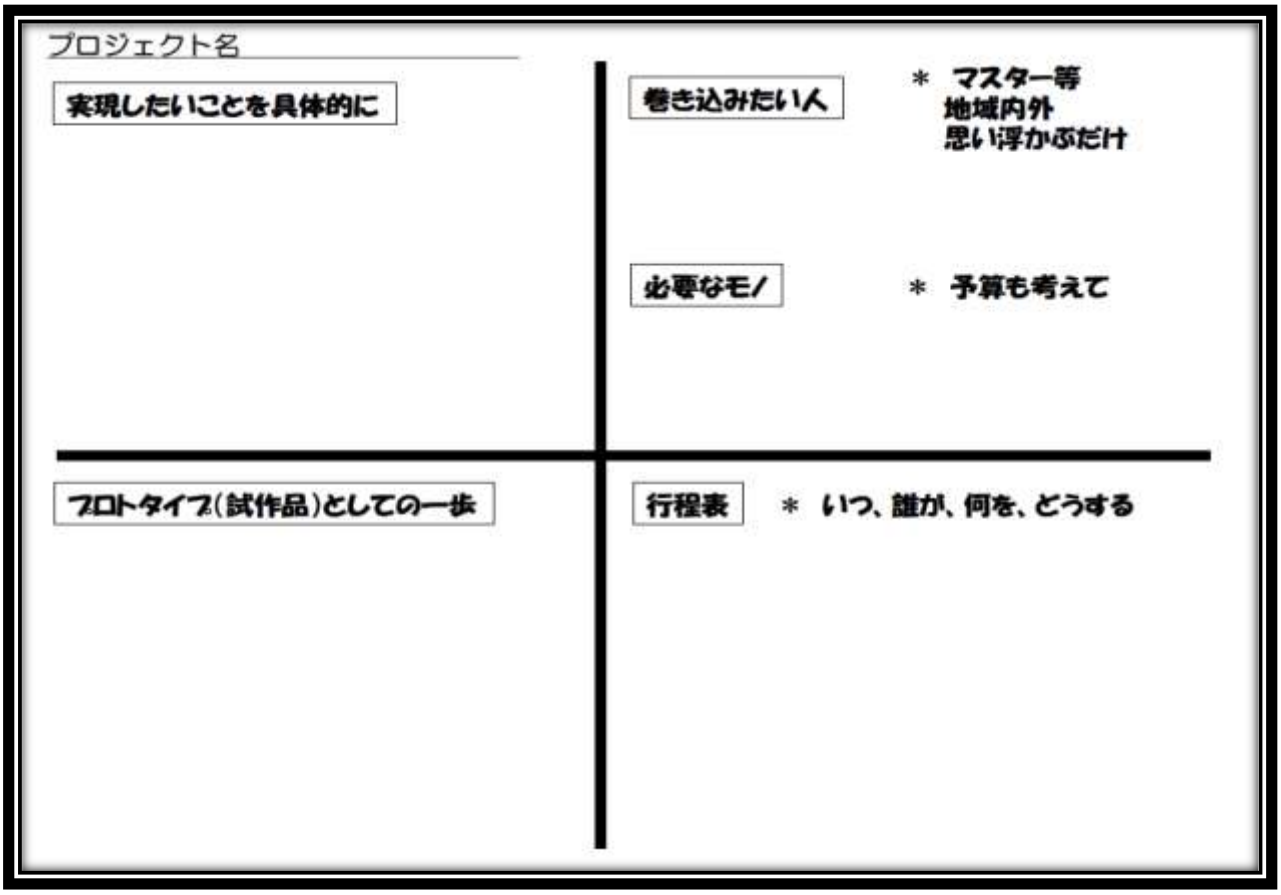
参加者の中には、佐藤先生のお話が聞きたくて、毎回参加していただいている方もいらっしゃったようです。

まずは、前回から引き続いて４つのテーマについて、掛け算式にアイデアを出すワークショップを行いました。



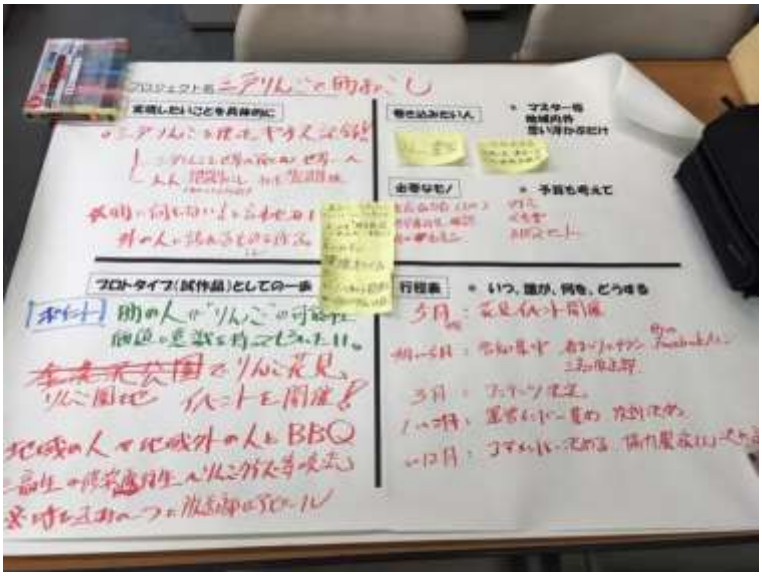
【出てきた新しいアイデアの中から一部紹介】
◆「１１ぴきのねこ」×「つつけ」＝　１１ぴきのねこ型つつけ
◆「城山公園」×「スポーツ」＝　マラソン大会やトライアスロン大会など
◆「三戸りんご」×「祭」＝　りんごフェスティバル開催
◆「空き家」×「高校生」＝　放課後の自習室やカフェとして空き家を活用

次に、実現したいことを１つ決め、実現に向けた具体的な動きについてグループ毎で話し合いました。

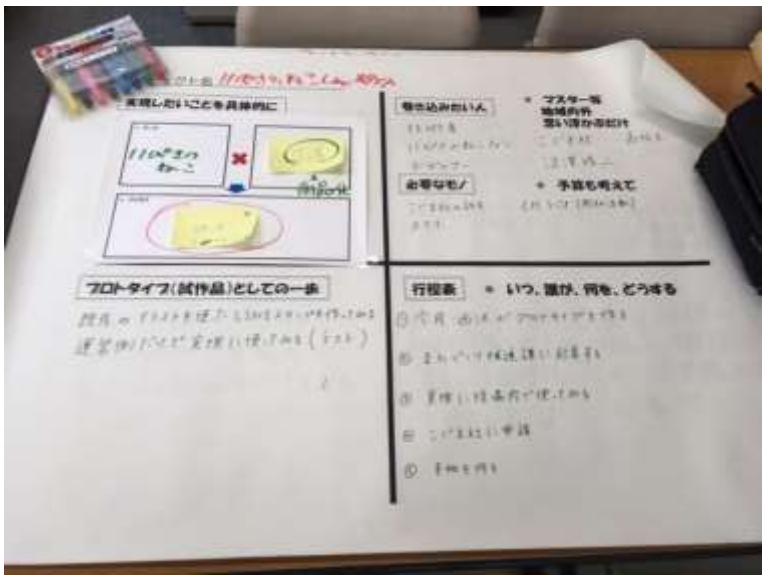


【各グループのまとめ】

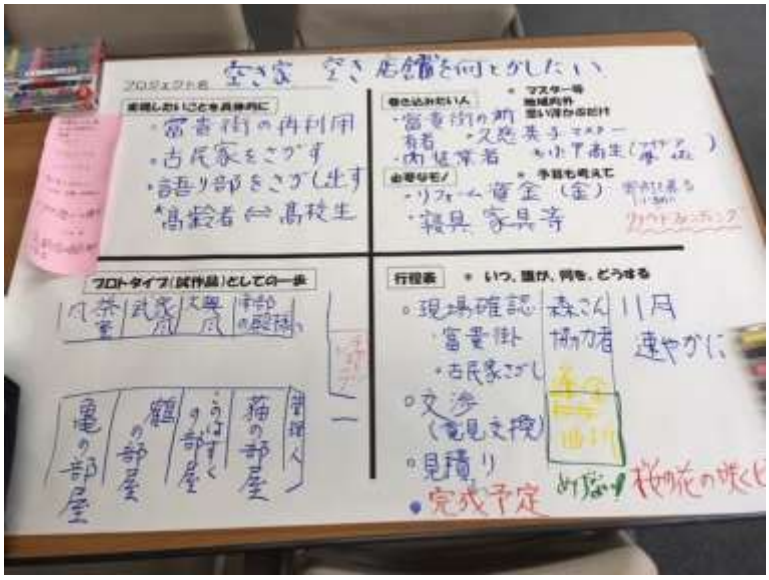
〇三戸りんごで町おこし

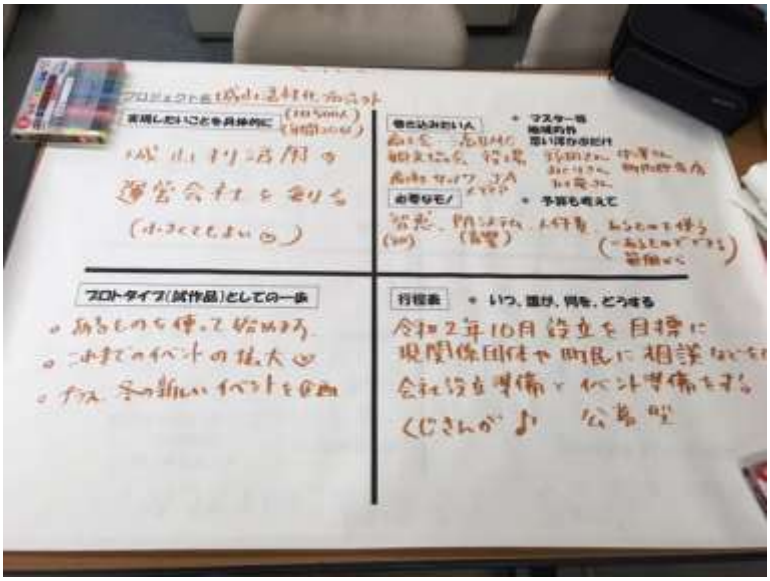


〇１１ぴきのねこで町を盛り上げたい



〇空き家・空き店舗をなんとかしたい　　〇城山公園の魅力づくり・観光拠点





具体的な活動を考えたり、模造紙にまとめてみたことで、テーマオーナーは頭の整理になり、参加者は現実的な事として各テーマを捉えることが出来たのではないかと思います。

【参加者の意見・感想】
〇話を深めていくときの表現の仕方が難しかった
〇今回話し合ったテーマが実現されるときは是非参加したい！
〇自分では思い浮かばないような話もあり、参考になった
〇時間内に話をまとめることが難しいと感じた
〇このような会合に一人でも多くの人が出席するように勧めたいと思った

皆さん、対話には少しずつ慣れてきたものの、まだ、難しいと感じる部分、時間が足りなくなってしまう部分があるようです。
やはり、何回も経験してみて、少しずつ身についていくことですので、是非、まちづくり人財塾以外の場でも、このような対話の手法を取り入れて、沢山実践してみてください。